**（小浜町並み保存資料館　家屋全体）**

**小浜の伝統的な町並みの保存館**

西組地区の特徴的な街並みは、京都と海を結ぶ港町として栄えた小浜の長い歴史を反映しています。地域全体の保全活動を支援するため、1997年に小浜町並み保存館は修復された町家の中に開設され、この地区の雰囲気を維持しながらも古い建物を改良する例になっています。2016年、この保存館は、別の旧町家兼店舗である現在の建物に移転しました。ここは、西組地区の代表的な町家建築や文化を紹介し、この辺りの観光情報を提供する教育施設です。

**旧商店の伝統的な建築と間取り**

建物は大正時代（1912年～1926年）に建てられたもので、その細長い構造は京都の町家に似ています。全体のレイアウトは、縦に2つに分かれています。1階左側には、一続きになった畳敷きの4部屋があり、通りに最も近い部屋は、もともと店頭として機能していました。右側には狭い廊下のような玄関があり、後ろにドアがあり、この建物の顧客がアクセスできる部分と、住人だけが使用するプライベートなエリアを分けています。ドアは、大きな伝統的なかまどと非常に高い天井（煙をろ過して出すのに役立だった）のある台所のエリアに通じています。敷地の奥には、お風呂、トイレ、井戸のある中庭、そして大きな蔵があります。2階は比較的小さく、主に家族や使用人の寝室として使用されていました。現在はお祭り用品の保管場所として機能しています。

**小浜の文化と観光の情報**

館内のいたるところの壁に小浜の名所や祭りの写真が飾られ、古い写真を掲載した本には、19世紀から20世紀の街の風景や日常生活が紹介されています。受付は保存館の二番目の部屋に設置されており、もしガイドが居る場合は館内ツアーも利用できます。このツアーは日本語のみで提供されているのでご了承ください。